

SCIO

Independence
Correction Orientation

関東矯正管区管内
少年矯正広報紙
スキオ

NO. **92**

特集

花育をとおした農福連携について
リフレクティング手法を用いた

社会復帰支援について

—久里浜少年院における多職種連携の実践—

コラム

外部協力者と協創する健全育成プログラム

～寛厳調和した処遇の伝統と実践で、
少年院最後の砦としての役割を果たす～

久里浜少年院

久里浜少年院の紹介

当院は、三浦半島の南東部、ペリー来航で有名な浦賀を形作る千代ヶ崎の先端に位置し、東方には東京湾と房総半島を望む豊かな自然に恵まれた環境にあります。

反社会的な価値観が強い者や、外国人等、日本人と異なる処遇上の配慮を要する者など、個別的な事情を特に考慮した指導が必要な在院者に対し、個々の問題性に応じた指導を行うとともに、発達

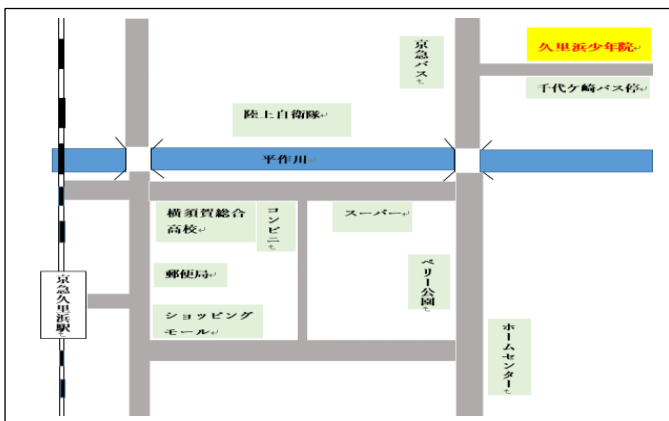
上の特性を有する在院者を対象とした指導も行っています。

当院の特徴として、個室を中心とした落ち着いた生活環境の中で、担任教官との個別面接や課題作文、グループ指導等を通して、在院者が抱える問題への気づきを促し、改善させるための指導を行っています。

また、発達上の特性を有する在院者らを中心に収容する寮では、社会性や対人関係スキルの

向上を目的とした当院独自の教育プログラム「K L A S」を実施しています。

個別面接においては、非行に至った経緯の振り返りを促すほか、再非行をしないための助言や出院後の生活に関する指導、少年院生活の悩み相談なども行い、担任教官は、在院者にとって最も身近な存在であり信頼関係の構築はとても重要であると考えています。



久里浜少年院案内図



当院全景

◆特集 —花育をととした農福連携について—

はななく 「花育」とは？



オリエンテーション



蘭との対面

「花育」とは、一部の学校教育でも導入されている教育内容であり、贈ることを目的に、一定期間花を育てた後に、第三者にその花をプレゼントするもので、花や植物に携わり心の成長を促す情操教育として行われています。

当院においては、社会貢献活動の一環として、日本フィランソロピー協会、椎名洋ラン園（日本農福連携協会所属）そして当院の三者で協議し、令和元年から活動が開始されました。

当院における花育では、花の生育及び贈呈を通して在院者に責任感や自己有用感の向上を図ることを目的とするとともに、外部協力者である日本フィランソロピー協会と椎名洋ラン園との連携を深めてまいりました。

■ 在院者の声 ■

- ◆ 小さな命の大切さに気付くことができた
- ◆ 人の役に立てうれしかった
- ◆ 自分の育てた花で誰かが笑顔になるとうれしい
- ◆ 花の成長をみることで生活の励みになった

■ 贈呈先の声 ■

- ◆ 元気な体でないといけないことがたくさんあります。自分のため家族のため感謝の心を持って過ごして下さい（闘病中の子の母からのメッセージ部）
- ◆ 私も闘病頑張るので一緒に頑張りましょう（闘病中の子からのメッセージ）

（主な贈呈先）

- ♣ 病気の子供と家族を支える団体
- ♣ 障害のある人を支える団体
- ♣ 高齢者の暮らしを支える団体
- ♣ 困難な状況にある子供を支える団体
- ♣ 農福連携関係団体

これまで、延べ30団体以上の機関の皆様、在院者が育てた蘭を贈呈させていただきました。

贈呈式においては、花育が社会貢献活動であることが実感できるよう、贈呈先の方から団体の活動を紹介してもらったり、農福連携に係る講話を賜ったりしています。

花育を御支援いただいている外部協力者や贈呈先の団体は、花育に限らず当院における矯正教育及び在院者の社会復帰に欠かせない貴重な存在であり、今後、更に連携体制を強化していくとともに、在院者の自己肯定感の向上と健全な社会の一員としての社会復帰を目指し、社会貢献活動を発展・継続していくことが当院に与えられた使命であると考えています。



居室内の蘭の様子

◆特集 ーリフレクティング手法を用いた社会復帰支援についてー

～久里浜少年院における多職種連携の実践～

リフレクティングについて

オープンダイアログにおけるミーティングの中核的技法として知られるリフレクティングでは、その特徴的な会話の構造や作法を踏まえることで、話し手の主体性を尊重しつつ、安心して話したり聞いたりするスペースとなり、新たな内的会話の促進や気持ちの動きが生まれることがあります。

少年院においては、第5種少年院における処遇のために開発された保護観察復帰プログラム「RISE」の実施に際して、動機

付け面接の理論とともにリフレクティングを取り入れた各種のミーティング技法が紹介・推奨されています。刑事施設では拘禁刑導入に先んじてオープンダイアログの手法や考え方を取り入れた対話実践が推進されましたが、少年院でも前記プログラムに加え、令和8年3月に生活指導として対話実践を柔軟に活用する方針が示され、リフレクティングにはますます注目が集まっています。

リフレクティングは、会話の

方法として有効であるほか、風通しの良い組織風土や安心して話せる場を育てていくことができる側面もあります。在院者だけでなく、職員間で活用することによって、職員同士の信頼関係や相互理解が深まり、ひいては施設全体のレベルアップに寄与することが期待されています。

当院のリフレクティングの紹介

当院では、教官、処遇カウンセラー（社会福祉士）及び医療職等と多職種で連携を取り、処遇困難な在院者や、リフレクティングが特に有効と考えられる在院者に対し、リフレクティングを実施しています。社会復帰支援の一環として行うものであり、リフレクティングの実施を通じて、在院者の意向を尊重した多様な社会復帰プランを形成することを目的としています。

また、処遇カウンセラー等が参加することで、普段接している法務教官には言い難いことも、気軽に話せるような場を提供することも目的としています。

●直近の事例

生育環境の影響もあり、心的内面に触れられると、攻撃的な防衛反応を示し、円滑な社会復帰支援が困難であった在院者に対して、おおむね2週間に1回、40分間程度リフレクティングを実施しました。

当初、頑なだった在院者が、回数を重ねるごとに、会話の雰囲気から感情の変化が感じ取れるようになり、「次はいつやりますか。」などと好意的な反応が見られるようになりました。最終的には自身の内面にあった将来の希望を述べるに至り、本人の意向を尊重した社会復帰支援に繋げることができました。

参加した処遇カウンセラーの感想

普段、少年と1対1で関わる中では得られない法務教官の視点や考え方を知ることができ、在院者を見る視野が広がりました。このような取組から、考え方や、現在の心境についての理解を深めることはもちろん、多職種による相互理解を通じて、今後の処遇や職場内の連携、良好な職場環境の醸成に生かすことができているのではないかと考えます。



リフレクティングの様子（観察者が感想を述べている場面）

◆外部協力者と協創する
健全育成支援プログラム◆

横浜少年鑑別所

健全な育成のための支援とは

少年鑑別所法第28条、第29条では、少年鑑別所の在所者に対して、健全な社会生活を営むことができるよう、自主性を尊重しつつ、①生活態度に関する助言及び指導を行うこと、②情操を豊かにし必要な知識及び能力を向上できるように、学習や文化活動等の機会を提供し、必要な助言を行うことが定められています。

当所では、少年鑑別所の使命や役割を御理解いただき、「少年処遇の力になりたい。」という熱意あふれる外部協力者の方とともに、在所者が健全な育成のための支援を受ける様々な機会を提供しています。昨今は入所人員が大幅に増えており、1年に1回しか実施できていないプログラムもありますが、「0ではなく1であれば積み重ねていける。」という思いを外部協力者の方と分かち合い、更なる発展を誓っています。

今回は、当所における外部協力者による御指導について御紹介します。

学習支援

勉強に対する苦手意識を口にして
いる少年も、講師の明るい人柄と
自分の学力に合わせて分かりやす
く教えてもらえることで、楽しんで
学習に取り組んでいます。

運動・エアロビクス指導

男子運動では、専門家による指導
を受けて、「腕立て伏せ」一つとっ
ても正しいやり方だと効果が全く異
なることに驚いています。

女子運動では、エアロビクス講師
のエネルギッシュな指導を受けて、
生きる気力が湧いてきたといった
感想が聞かれることもありました。

茶道体験

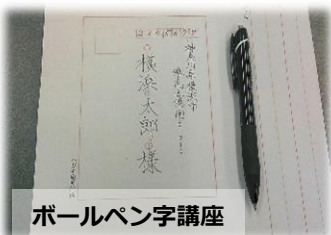
人生で初めてお茶を
たてる体験を通して、丁
寧な所作を学ぶととも
に、新しいことにチャ
レンジすることで考え
や可能性が広がること
実感できます。



茶道体験

ボールペン字講座

一朝一夕で字がきれいになっ
たりしませんが、そのためのポイント
を丁寧に教えていただけます。それ
を意識して書くことを継続できれ
ば、確実に字が上達します。人生が
変わるかもしれません。



ボールペン字講座

就労支援講話

たった1回の限られ
た時間の講義の中で、就
労に関する様々な話題
の中で何を伝えるか、考
えに考えて講師がお話
していただきます。退所
後の生活に直結する講
義です。

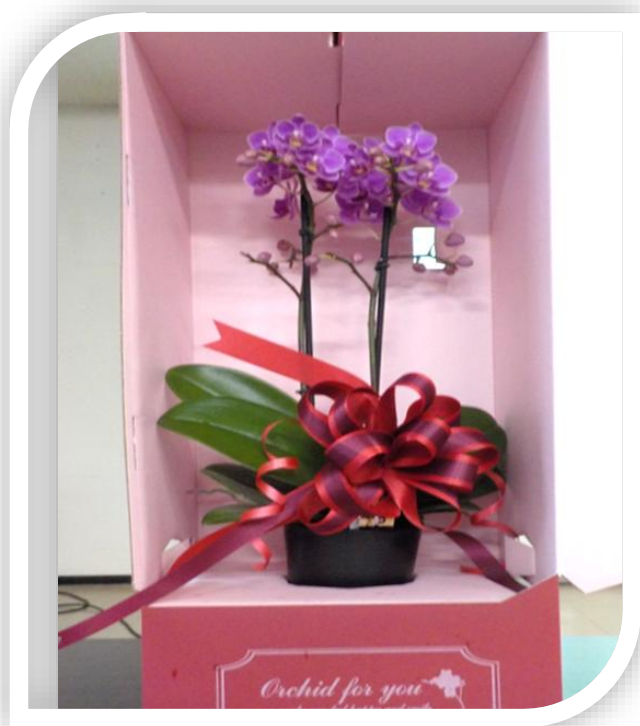
性教育 (いのちの講話)

この世界に誕生し、今ここに存在するこ
とは奇跡的であり、誰もが皆かけがえの
ない存在であると感じてもらふこと
から始まり、互いを尊重するとはどうい
うことか、避妊や性感染症対策の意
味、その具体的方法まで学びます。

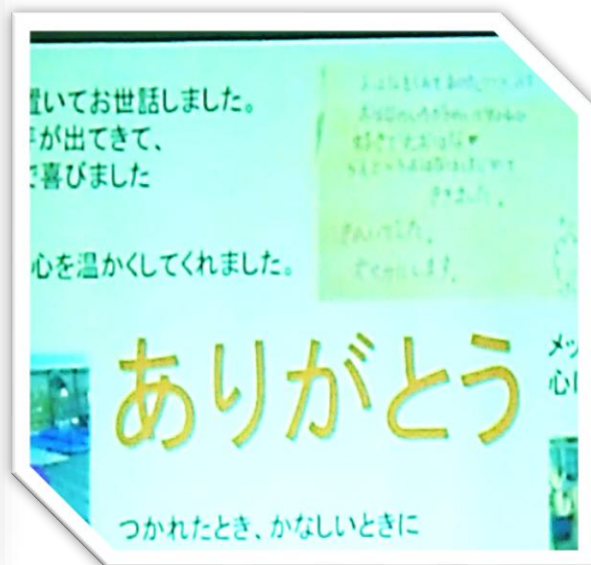


性教育
(いのちの講話)

久里浜少年院の「花育」より



贈呈した胡蝶蘭



贈呈先の皆様からのメッセージ

関東矯正管区管内少年矯正広報紙 SCIO（スキオ）

第92号 令和8年6月発行

編集責任者 関東矯正管区少年矯正部長 市川 真由美

編集・印刷 久里浜少年院

〒 239-0826

神奈川県横須賀市長瀬3-12-1

電話 046-841-2585

「SCIO」（スキオ）とは、ラテン語で、「知る」という意味です。それは矯正教育の目標でもある、次の四つの英単語の頭文字の組合せから成る言葉でもあります。

Socialization（社会化）

Correction（矯正）

Independence（自立）

Orientation（方向付け）

次号は令和8年10月、喜連川少年院、宇都宮少年鑑別所を担当庁として刊行の予定です。